

# ご 挨拶

本学会の会長である網中武博先生は（東京家政大学教授）、現代の日本の社会の特徴を「少子化、高齢化」とし、この「高齢化、少子化の流れをかなり Welfare の視点からとらえすぎている傾向が見られます」と、第 12 回大会のご挨拶の中で述べておられます。加えて「心理学の分野においてもそこに重点を置き、Welfare に貢献するという視座が中心となっている」とその研究方向に対する危惧を表明されています。そして、「高齢化がすすんでいることをむしろあるがままに受け止め、真に人間が喜ぶ社会のあり方を探求……」とまとめておられます。このことは、若年層と中年層が、高齢者を経済的、精神的に支えていく現在の構造に疑問を投げかけたものと思われま

す。続く本大会もこの意を受けて開催しようと思っております。よく熟年者達を「老人子ども」と言ったりしますが、本当にそうなのでしょうか。私の研究からは、全くそういう結果はでておりません。もっと健康的で生産的なのが現在の熟年者です。これらの否定的な姿は、これまでの社会が作り上げてきたものと言えると考えております。定年も誰でも一律に年齢で区切ることでよいのか議論すべき時期が到来しているように考えております。今回の大会のテーマは、「ひとの生涯発達と福祉心理学との関わりを考える」です。前回の大会に続き、「人間を尊ぶ社会の構築に貢献する心理学のあり方を探る機会にする」の第二弾となります。

さて、今回の大会は、東京福祉大学の王子キャンパスで開催されます。まだ真新しいキャンパスで、本年の 4 月より学生が入ったばかりのキャンパスです。この新しいキャンパスで本学会が開催できることを教職員共々大いに喜んでおります。そして、またこちらの予想を超える申し込みがあり、心から感謝いたすと共に大変に嬉しく思っております。

福祉心理士の研究を含めて 3 日間の開催予定ですが、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

平成 27 年 10 月

日本福祉心理学会第 13 回大会準備委員会  
委員長 中里克治

## 大会スケジュール

### 1日目 10月11日(日)

10:30-11:30 各種委員会 2号館8階 2081教室

11:30-12:30 理事会 2号館11階 2111教室

#### 【受付開始】12:00～

13:00-14:30	<b>学会企画シンポジウム</b> <b>「援助者達のメンタルヘルスを考える」</b> 司会者：渡邊 映子氏 シンポジスト：山田 美希氏・中里 哲也氏・生川 善雄氏 指定討論者：宮本 文雄氏・手島 茂樹氏	2号館6階 2061教室
14:45-16:15	<b>記念講演</b> <b>「心理学は戦後の日本の福祉にどう貢献したか」</b> 講演者：田ヶ谷 雅夫氏	2号館5階 2051教室
16:30-18:00	自主シンポジウム1： 発達障害と社会的養護 自主シンポジウム2： 福祉教育の新たな広がりを模索して 自主シンポジウム3： 社会的養護を要する子供の心理的成長を支える	2号館6階 2061教室 2号館7階 2071教室 2号館8階 2081教室
18:15-20:15	懇親会 ※ 受付18:00	2号館13階 ラウンジ

### 2日目 10月12日(月)

#### 【受付開始】9:00～

10:00-11:30	研究発表(ポスター発表)	2号館4階 2041教室
11:40-12:40	研究発表(口頭発表)	2号館5階 2051教室
12:50-13:50	総会	2号館6階 2061教室
14:00-15:30	<b>教育講演</b> <b>「福祉現場(発達障害)のアセスメントにはどのような視点が求められるか」</b> 講演者：小林 重雄氏	2号館7階 2071教室
15:40-16:55 ※ 一般公開	<b>大会講演</b> <b>「高齢期のパーソナリティの諸問題」</b> 講演者：中里 克治氏	2号館6階 2061教室

#### \*福祉心理士資格更新にかかわるポイント付与について:

「福祉心理士」の有資格者で、大会に参加された場合、資格更新のためのポイントが付与されます。本大会の参加証が資格更新の際の証明証になりますので、保管しておいてください。

大会準備委員・学会  
特別企画

記念講演 10月11日(日) 14:45-16:15 2号館5階 2051教室

「心理学は戦後の日本の福祉にどう貢献したか」

講演者：田ヶ谷 雅夫氏（ぶどうの里 名誉理事長）

学会企画シンポジウム 10月11日(日) 13:00-14:30 2号館6階 2061教室

「援助者達のメンタルヘルスを考える」

司会者：渡邊 映子氏（東京福祉大学）

シンポジスト：山田 美希氏（のぞみの園 診療部）

シンポジスト：中里 哲也氏（四谷メディカルキューブ）

シンポジスト：生川 善雄氏（おあしす湘南 施設長）

指定討論者：宮本 文雄氏（東日本国際大学）

指定討論者：手島 茂樹氏（東京福祉大学）

教育講演 10月12日(月) 14:00-15:30 2号館7階 2071教室

「福祉現場（発達障害）のアセスメントにはどのような視点が求められるか」

講演者：小林重雄氏（筑波大学名誉教授）

大会講演 10月12日(月) 15:40-16:55 2号館6階 2061教室

「高齢期のパーソナリティの諸問題」

講演者：中里克治氏（東京福祉大学・大会委員長）

## 自主シンポジウム

自主シンポジウム1 10月11日(日) 16:30-18:00 2号館6階 2061教室

### 「発達障害と社会的養護 - 里親・里子の関係を手がかりとして - 」

企画者	深谷昌志	(東京成徳大学)
話題提供者	深谷和子	(東京学芸大学)
話題提供者	石田祥代	(東京成徳大学)
話題提供者	青葉紘宇	(東京都里親会)
指定討論者	中山哲志	(東京成徳大学)

自主シンポジウム2 10月11日(日) 16:30-18:00 2号館7階 2071教室

### 「福祉教育の新たな広がりを模索して

#### - 理系学生に対する福祉教育の必要性に注目して - 」

企画・司会・話題提供者	杉山雅宏	(東北薬科大学)
話題提供者	小島良一	(東北薬科大学)
話題提供者	大野賢一	(東北薬科大学)
指定討論者	富樫ひとみ	(茨城キリスト教大学)

自主シンポジウム3 10月11日(日) 16:30-18:00 2号館8階 2081教室

### 「社会的養護を要する子どもの心理的成長を支える」

企画・司会者	井出智博	(静岡大学)
話題提供者	大迫秀樹	(九州女子大学)
話題提供者	綱川弘樹	(チルドレンズホーム)
指定討論者	大原天青	(国立武蔵野学院)
指定討論者	網野武博	(東京家政大学)

## 研究発表（ポスター発表）

10月12日（月） 10:00~11:30

会場：2号館4階 2041教室

- P-01 NICU入院経験児を持つ両親の思いの心理的プロセス  
—両親の思いの違いと調整に焦点をあてて—  
○荒川恵美子（東京成徳大学大学院）・西村昭徳（東京成徳大学）・  
中村真理（東京成徳大学）
- P-02 療育に携わる専門家の研修プログラムの開発に関する研究  
—K市教育委員会の取り組む現職教員プログラムを手がかりにして—  
○有村玲香（鹿児島純心女子大学）
- P-03 スクールソーシャルワークの定義の一考察  
—国際比較を踏まえた予備調査—  
○千葉広大・寺田翼・飯野有紀・皆川智寛・岩澤宣明・塩澤綾子・米川和雄  
（帝京平成大学 NPO 法人エンパワーメント）
- P-04 育児の社会的支援に関する一考察  
—中国瀋陽市における0～6歳児の育児の社会的支援を中心として—  
○趙陽（鹿児島国際大学）
- P-05 “パソコン・コラージュプレイ”Ⅳ  
—福祉施設における情動を育む試み—  
○船曳倍子・南部真理子・梅林厚子（神戸芸術工科大学）
- P-06 在宅視覚障害者に対するピア・サポート活動の効果  
—参加者へのグループインタビューから—  
○柏倉秀克（日本福祉大学）
- P-07 保育臨床における実践的学びを通じた学生支援の試み  
—母親アドバイザーの視点をベースとして—  
○川端愛子・齋藤修子・平井梓・山崎メラニー・後藤守（北海道文教大学）
- P-08 発達障害を抱える人たちと援助者の自己受容  
—受容的交流の実践を通して—  
○川相豊子（社会福祉法人嬉泉 地域生活支援センターたのしみ）
- P-09 行動評価尺度を適用した認知症高齢者の行動観察によるBPSDの理解  
○草木迫諒（城戸医院）・稲谷ふみ枝（鹿児島大学大学院）
- P-10 児童養護施設で暮らす中高生児童のレジリエンスの様相  
○井出智博（静岡大学）
- P-11 保育者をめざす大学生たちの「子育て意識」に対する調査研究  
—地域親子との活動からの意識および実態の変化について—  
○永田恵実子（静岡英和学院大学）
- P-12 私立大学におけるインクルーシブ教育を組み込んだ教員養成カリキュラム開発に  
関する研究 —アンケート調査1の分析—  
○野村勝彦（作新学院大学）

- P-13 グループホーム職員の就労継続に影響を与える要因に関する検討  
○納戸美佐子（西南女学院大学）・中村貴志（福岡教育大学）
- P-14 要保護児童対策地域協議会の現状と課題  
－A県B市での活動事例を中心に－  
○大西良（長崎国際大学）・占部尊士（西九州大学短期大学部）・  
辻丸秀策（久留米大学）
- P-15 乳児院における早期からの連続性を持った心理的ケアに関する研究  
○大迫秀樹（九州女子大学）・白澤早苗（福岡女学院大学）
- P-16 『共支地図』の制作効果に関する研究  
○坂原明（聖カタリナ大学）
- P-17 ホームレス支援から見た“生育環境”の実態  
－W自立支援ホームでの聞き取りから－  
○坂本佳代子（坂本福祉相談事務所，聖学院大学）・  
戸田由美子（一般社団法人ねこのて）
- P-18 自閉症児・者の生活リスクにおける保護者の事前回避困難の認知  
○佐藤匡仁（岩手県立大学）
- P-19 脳性麻痺と重度知的障害のある成人女性に対するカードを介した  
コミュニケーションの支援－入所施設における実践－  
○高階美和（町田福祉園）
- P-20 施設に入所する行動障害者への支援と職員への意識調査  
○富山友子（茨城県立あすなろの郷）
- P-21 大学生の障害者に対する受容的態度について  
○豊村和真（北星学園大学）
- P-22 学校における（義務教育）教育と福祉の融合  
－専門職の役割とは－  
○辻康子（京都府教育委員会 中学校配置）
- P-23 対人関係の問題に焦点をあてた児童福祉施設におけるグループ心理教育の試み  
○山崎康一郎（大阪人間科学大学）
- P-24 病院実習における学びの内容と指導方法について  
－福祉心理学的な視点からの分析－  
○占部尊士（西九州大学短期大学部）・大西良（長崎国際大学）・  
村岡則子（長崎ウエスレヤン大学）
- P-25 母親の家庭内感情労働と孤独感が養育態度に及ぼす影響  
○佐藤裕実・関谷大輝（東京成徳大学）
- P-26 教育と臨床の協働による医療ソーシャルワーカー養成の実践的取り組み  
－循環型教育を通して－  
○村岡則子（長崎ウエスレヤン大学）・占部尊士（西九州大学短期大学部）
- P-27 ケアマネジャーの高齢者の心理的課題の把握に関する調査報告  
○入江多津子（国際医療福祉大学）

## 研究発表（口頭発表）

**10月12日（月） 11：40～12：40**

**会場：2号館5階 2051教室**

**0-1 幸育心理学とは何か**

- －応用福祉心理学との比較を通して－  
○平野信喜（宇部フロンティア大学）

**0-2 保育者の職務上の「たいへんさ意識」とメンタルヘルスの関係**

- 金城悟（東京家政大学）・金城久美子（聖徳大学）

**0-3 児童養護施設における「生活場面面接」に関する研修効果**

- －職員の養育コンピテンスに注目して－  
○大原天青（国立武蔵野学院）

**0-4 児童養護施設職員の入所児支援におけるPDCAサイクルの確立**

- －問題解決スキル促進システムの導入－  
○佐々木銀河・野呂文行（筑波大学）

## 参加者へのご案内

### 1. 大会受付

#### (1) 受付時間

1日目 10月11日(日) 12:00～ 2日目 10月12日(月・祝) 10:00～ です。  
※10月11日(日)は、大会受付開始前の時間帯の 10:30～11:30に各種委員会、  
11:30～12:30に理事会 が開催されます。該当の会員はご出席ください。

#### (2) 受付場所

1日目、2日目ともに東京福祉大学王子キャンパス「2号館エントランスホール」です。

#### (3) 受付区分

##### 1) 正会員で予約参加の方

受付で「領収書・参加章引換はがき」を提示し、参加証をお受け取りください。

※「引換はがき」がない場合は、お名前をお伝えいただき、参加証をお受け取りください。

##### 2) 正会員で予約されていない方(当日参加)

受付でお名前をお伝えいただき、大会参加費を納入の上、参加章をお受け取りください。

##### 3) 非会員で予約参加の方

受付でお名前をお伝えいただき、参加章をお受け取りください。

##### 4) 非会員で予約をされていない方(当日参加)

受付でお名前を記入いただき、大会参加費を納入の上、参加証をお受け取りください。

#### (4) 学会事務局

学会への入会は受付コーナーに設置された「学会事務局」で承ります。

#### (5) 懇親会受付

1日目の10月11日(日)の18時15分よりキャンパス内13階「ラウンジ」にて懇親会を行います。当日参加費は、正会員6,000円、学生会員4,000円、当日会員6,000円となります。当日、懇親会への参加をご希望される方は受付にて納付のほどお願いいたします。

### 2. 会場関係

#### (1) 大会本部(場所)

「大会本部」は「王子キャンパス 鈴木研究室」になります。

お問合せは大会本部までご連絡お願い申し上げます。

#### (2) 昼食

大学に学生食堂はございませんので、事前にご用意ください。

※大学徒歩圏内にコンビニがございますので弁当等の購入が可能です。

#### (3) 休憩場所

2号館13階「ラウンジ」を休憩室としてご利用ください。

※混雑状況に応じて、2号館12階の教室も休憩室として開放する予定です。

#### (4) 駐車場

駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。



### 3. 宿泊

宿泊は、各自で手配をお願いいたします。

### 4. 前日までの連絡・問合せ先

ご不明なことがございましたら、下記までお願いいたします。

日本福祉心理学会第13回準備委員会・実行委員会事務局

Eメール：2015janphs@gmail.com 大会事務局長 鈴木康明

※大会開催期間中は大会本部（王子キャンパス 鈴木研究室）までお問合せをお願いいたします。

### 5. 研究発表（ポスター発表）発表者へのご案内

(1) 2号館4階に「ポスター発表受付」を設置いたします。係から画鋏、両面テープ等をお受け取りください。

(2) 12日（月）9：00～9：45の時間帯にポスターを掲示してください。

パネルの大きさは 幅90cm×高さ180cm です。

(3) 発表時間は10：00～11：30です。パネルの位置に発表番号がつけてあります。在籍責任時間は、奇数番号は前半45分（10：00～10：45）、偶数番号は後半45分（10：45～11：30）です。

(4) 配布資料がある場合は、各自で準備、配布をお願いいたします。当日、大学内でコピー・印刷等はできません。あらかじめご用意ください。

(5) 発表会場内の机・椅子を移動した場合は、発表者の皆様に元の位置に戻してください。人手が足りない場合は大会事務局までお知らせください。

(6) 発表者欠席の場合は、発表取り消しとみなされます。ただし、連名発表者に限り、大会本部の承認を得て、発表を代行できます。大会事務局までご連絡ください。

### 6. 自主シンポジウム発表者へのご案内

(1) 打ち合わせは、適宜、当事者同士で責任を持って行ってください。

※打ち合わせ室として、それぞれのシンポジウム会場をご利用ください。

各シンポジウム会場は、15：30から打ち合わせ室として利用可能です。

(2) 開始時間、終了時間を厳守して頂きますよう、お願いいたします。

(3) パソコン操作については、企画者に一任いたします。使用される方がご自身で操作していただきますよう、お願いいたします。不明な点は係にお尋ねください。

(4) 配布資料がある場合は、各自で準備をお願いいたします。当日、大学内でコピー・印刷等はできません。あらかじめご用意ください。